

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の目的

本市は、豊かな歴史・文化と自然環境に囲まれ、先人たちのたゆまぬ努力により、知多半島の中心として着実な発展を遂げてきました。また、地域経済の活性化を目指して、平成 18 年に「半田市産業・観光振興計画」を策定し、産業の活性化に取り組むとともに、平成 24 年に第 2 次の計画を掲げて、農商工観の連携を重視して産業・観光振興を進めてまいりました。

しかし、人口減少や少子高齢化、グローバル化の進行、環境問題の深刻化、さらに新型コロナウイルス感染症によって生まれた新たな価値観への関心の高まりなど、本市を取り巻く社会経済情勢が急速に変化している中、今後も持続的に発展していくため、市民、事業所、行政が一体となり、今後の産業・観光振興の目指す将来像やその実現に向けた中長期的な方向性、施策を共有し、総合的かつ体系的に推進することが重要です。そこで、新たに第 3 次計画として策定するものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、本市の将来像や目標、各分野の方向性を示した「第 7 次半田市総合計画」に基づき、農業・商業・工業・観光の分野を中心として今後 10 年間を見据えた産業・観光全般に関する施策の方向性を示した個別計画です。

また、国が示す成長戦略や観光政策の方向性、さらに愛知県が推進する各種計画を踏まえて、本市が推進すべき産業・観光振興の方向性や施策を整理しています。

さらに、本計画において、産業・観光振興の視点から SDGs（持続可能な開発目標）との関連性を明確にして基本施策を展開し、その推進に貢献します（※次ページ図 参照）。

3 計画期間

計画期間は、令和 4 年度から令和 13 年度までの 10 年間とします。

なお、計画の実施状況を定期的に確認し、今後の社会情勢や市民ニーズの変化、さらに上位、関連計画との整合性などを踏まえ、中間年度で計画の見直しを行います。

図表 1-3-1 上位・関連計画との関係性



※ Sustainable Development Goals の略。持続可能な世界を実現するために、平成 27 年 9 月の国連サミットで採択された平成 28 年から令和 12 年までの国際目標。地球上の誰一人として取り残さないことを目指し、国際社会全体に関わる幅広いテーマの 17 のゴール（目標）が定められている。